

## シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	通年
授業科目	総合学習 I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	1. KBC学園の教育理念に掲げる「豊かな人間性」育むために学内外において様々な行事に参加し、クラスメートとの協調性・思いやり・気配り・積極性・感謝など自身の体験を通して身につける授業とする。 人として大事な「クレド項目」を実践する授業として実施する。 2. 就職実務や就職出陣式の時間を活用し学生の就職意識の向上と目標進路設定を行う機会とする。				
到達目標	学校内外の行事を通して学生のチャレンジ精神・感謝等の「学生クレド項目」が日常生活から率先して行えるようになる。評価方法に関しては各行事ごとの振り返りレポートと学生の個別ガイダンスを合わせた評価C以上取得。(A・B・C・Dの4段階評価とし、レポート、ガイダンス内容等を学校で定めた成績評価の基準とする)				
授業計画	総授業時間数 140 時間 授業回数 140 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	LHR ロングホームルーム(クラス行事、学生個別ガイダンス等を含む)			36
	2	就職実務 I			54
	3	マーケティングジャーナル			36
	4	面接指導			14
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				140
教科書	オリジナルプリント				
時間外学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等) 2. 学校行事(ビーチパーティやその他行事等)に関しては時間外で準備対応等がある。				
成績評価方法	出席率、授業態度、週末テスト、提出課題等の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	演習・講義	講義時期	通年	
授業科目	パソコン演習 I	担当者	喜名 和歌子	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	企業人に求められる基本のパソコン (Word・Excel) のスキルを身につけ、 文書の作成及び表計算の作成ができる。					
到達目標	日本語ワープロ検定試験3級以上、日本情報処理技能検定3級以上取得 ①ブラインドタッチで10分間300文字以上、及び定型ビジネス文書の作成ができる。 ②四則計算や「IF」など、基本的な関数処理ができる。					
授業計画	総授業時間数	90 時間	授業回数	90 回	1回授業 45分	授業時間数
	1	ワープロ検定について(パソコン室の使い方等の注意事項)				1
	2	タイピング練習(4級速度練習)				5
	3	4級速度模擬問題				2
	4	タイピング練習(3級速度練習)				6
	5	3級速度模擬問題				4
	6	文書作成の注意事項について				2
	7	4級通信文作成練習				2
	8	4級通信文作成模擬問題				2
	9	3級通信文作成練習				4
	10	3級通信文作成模擬問題				4
	11	模擬問題演習(速度+通信文)				20
	12	表計算作成についての説明				6
	13	四則計算、関数の説明				6
	14	3級模擬問題				26
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				90	
教科書	日本語ワープロ検定試験模擬問題集3・4級編及び情報処理(表計算)模擬問題3・4級編					
時間外 学習	パソコン室にて過去問題について、自主学習を行う。					
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬問題の成績、検定試験の結果等総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	沖縄観光	担当者	仲井間 利加子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	沖縄の歴史や文化を知ることによって今後、グローバルに活躍する学生には郷土愛を持っておもてなしの精神(うとういむち)で幅広く自信をもって沖縄のことを紹介する。				
到達目標	1.沖縄の地理、概要を知る 2.沖縄の文化を知る事(ブクブク茶) 3.沖縄の41市町村を理解する事				
授業計画	総授業時間数 32 時間 授業回数 32回 1回授業 45分				授業時間数
	1	沖縄観光とは?・メラビアン <sup>①</sup> の法則・ペーパー紹介			2
	2	ぶくぶく茶体験			2
	3	DVD鑑賞(対馬丸)			2
	4	沖縄の市町村・概要・沖縄の市町村ビンゴ			4
	5	沖縄の年中行事			4
	6	市内研修と首里城公園 課外授業			7
	7	沖縄の伝統工芸			2
	8	沖縄の伝統芸能			2
	9	沖縄の食文化			3
	10	沖縄語(しまくとぅば)言葉の文化			2
	11	琉球・沖縄の歴史			2
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	うちな〜観光教本(沖縄コンベンションビューロー)				
時間外 学習	1. ブクブク茶体験				
	2. 那覇市内研修				
成績評価 方法	出席率、授業態度、豆テスト等総合的に評価する。				
担当詳細	①. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>				

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	志学 I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要	<p>1. KBC学園の教育理念に掲げられた「人財」を目指し、人間性を磨き各自の「志」をたてる。社会人として働くうえで知識・技術だけではなく豊かな人間性を兼ね備えた学生の育成を目的とする。</p> <p>2. 「学生クレド」についての理解を深め、望ましい価値観や考え方を身に付け学校生活の中で実践し社会人の準備を意識させる目的とする。</p>				
到達目標	<p>志学を通して各章ごとの「学生クレド項目」が日常生活から率先して行えるようになる。評価方法に関しては各行事ごとの振り返りレポートと出席率、志学の教科書記入内容等を合わせた評価C以上取得を目標とする。(A・B・C・Dの4段階評価とし、学校で定めた成績評価の基準とする)</p>				
授業計画	総授業時間数 26 時間 授業回数 26 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	志学 I 序章			2
	2	志学 I ねらい・学習目標			2
	3	志学 I 第1章 ～感謝 (クレド1)～			2
	4	志学 I 第2章 ～感動 (クレド2)～			2
	5	志学 I 第3章 ～思いやり・気配り (クレド3)～			2
	6	志学 I 第4章 ～明朗 (クレド4)～			2
	7	志学 I 第5章 ～挨拶 (クレド5)～			2
	8	志学 I 第6章 ～素直 (クレド6)～			2
	9	志学 I 第7章 ～プラス思考 (クレド7)～			2
	10	志学 I 第8章 ～チャレンジ精神 (クレド8)～			2
	11	志学 I 第9章 ～永久戦力 (クレド9)～			2
	12	志学 I まとめ、振り返り			4
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				26
教科書	KBC学園 志学 I・II				
時間外学習	1. 志学で学んだクレド項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等)				
成績評価方法	出席率、授業態度、レポート提出状況等総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年	
授業科目	ビジネスマナー	担当者	喜名 和歌子	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	企業現場で必要となる、ビジネスマナー・敬語・働く姿勢・心構えのほか、一般教養や社会的常識、社会制度などの知識も習得する。					
到達目標	1. 社会人として基本的な心構えができている。 2. 丁寧語、謙譲語など基本的な敬語の知識を習得している。 3. 姿勢やお辞儀など、基本的動作や電話応対などを習得している。					
授業計画	総授業時間数	28時間	授業回数	28回	1回授業 45分	授業時間数
	1	社会人としての心構え				4
	2	基本動作(立つ姿勢・お辞儀の仕方)				4
	3	言葉遣いの基本(話の仕方、聞き方・敬語の基本)				4
	4	来客応対(接遇とは・お客様の受付・名刺交換その他)				6
	5	確認テスト 解答と解説				2
	6	電話応対				4
	7	訪問のマナー				2
	8	確認テスト 解答と解説				2
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	31					
	合計時間数				28	
教科書	テキスト: 実践ビジネスマナー					
時間外 学習	読書や新聞を読み語彙力を上げる					
	様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる					
成績評価 方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により					
	総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

## シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	エアライン実務(基礎)	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	航空業界で使用する知識や航空会社、空港、航空機の特徴を学び航空知識並びに空港で働く仕事が理解できるようになる。 授業前半を航空業界共通の知識を学び、授業後半では、エアポートビジネス科が目指すグランドハンドリング業務の基礎知識を学ぶ。				
到達目標	1. 空港で使用されるコード、特殊車両、航空用語等の確認テストを合格。 (100点満点中60点以上で合格) 2. 那覇空港を就航する各空港の3レターコードを答えることができる。 (30空港中24空港以上正解)				
授業計画	総授業時間数 44 時間 授業回数 44 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	各航空会社とキャリア ①航空知識			2
	2	航空会社と2レター アライアンス ①航空知識			2
	3	3レター那覇空港就航都市 ①航空知識			2
	4	概要説明 空港業務説明 ①航空知識			2
	5	各航空機機種説明 ①航空知識			2
	6	那覇空港従事航空会社概要紹介 ①航空知識			2
	7	1～6まとめテスト ①航空知識			4
	8	グランドハンドリング職業説明 ②グランドハンドリング知識			2
	9	空港特殊車両(基礎) ②グランドハンドリング知識			2
	10	航空用語( ②グランドハンドリング知識			4
	11	空港制限区域内説明 ②グランドハンドリング知識			2
	12	7～10まとめテスト ②グランドハンドリング知識			4
	13	航空危険物 ②グランドハンドリング知識			6
	14	航空機情報画面(ITV) ②グランドハンドリング知識			2
	15	マーシャリング授業 ②グランドハンドリング知識			2
	16	エアポート実務まとめテスト(期末テスト)			4
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				44
教科書	オリジナルプリント				
時間外 学習	航空用語、空港コード等の授業で学んだ知識の復習を各自で進める。				
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>				

## シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科グランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	実用英語 I (TOEIC)	担当者	新里玲子・川添樹子 上原美香	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEICを初めて受験する、あるいはスコアアップを目指す学生を対象に、頻出語句、基礎文法、回答のテクニックを中心に学習する。</li> <li>・リスニング問題、リスニング問題を解くために必要な語句・文法確認を継続して行う。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEICスコア300～400以上を取得する。</li> <li>・TOEICの学習、テスト形式になれ、今後継続的にハイスコアを目指して学習できる。</li> </ul>				
授業計画	総授業時間数 78時間 授業回数 78回 1回授業 45分				授業時間数
	1	オリエンテーション、問題形式・出題内容について			1
	2	実力診断テスト(模擬試験)			2
	3	リスニング Part 1、ボキャブラリー①			10
	4	リスニング Part 2、ボキャブラリー②			10
	5	リスニング Part 3、リーディング Part 5			20
	6	リスニング Part 4①、リーディング Part 6			8
	7	リスニング Part 4②、リーディング Part 7			8
	8	全パート入門編			15
	9	模擬試験、解答解説			4
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				78
教科書	TOEIC L&Rテスト書き込みドリル(桐原書店)、公式TOEIC L&R問題集(ETS)他				
時間外学習	単語テスト(Googleフォーム)他				
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科グランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年	
授業科目	国内地理	担当者	前津 盛明	科目必修区分	選択必修	
授業概要 (目的)	一般常識である国内の地理を観光業の目線から学びなおす。					
到達目標	日本全国の都道府県名、県庁所在地が全て答えられる。 都道府県の位置が地図上で答えられる。 各地方の観光地・名産品が具体的に述べられる。					
授業計画	総授業時間数	38時間	授業回数	38回	1回授業 45分	授業時間数
	1	関東の人口・面積・地名・観光地				4
	2	中部の人口・面積・地名・観光地				4
	3	関西の人口・面積・地名・観光地				4
	4	中国四国の人口・面積・地名・観光地				4
	5	九州の人口・面積・地名・観光地				4
	6	北海道の人口・面積・地名・観光地				4
	7	まとめテスト				2
	8	グループワーク①(都道府県探し)				4
	9	グループワーク②(世界遺産探し)				2
	10	国内地理調べワーク・発表				6
	11	※これまで学んだことから興味ある都道府県を一つ選び観光情報をまとめて発表する				
	12	※まとめる情報(観光地3つ、特徴、選んだ理由)				
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					38
教科書	オリジナルプリント					
時間外 学習	日本の都道府県、県庁所在地を覚える					
	日頃のニュースから情報を得る					
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	①. 実務家		2. 教員	備考		
	実務経験紹介		<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>			

## シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	通関・貿易実務(基礎)	担当者	宮城 良之・企業連携	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	貿易について、流れやそのリスク回避、国際物流についての基礎を学ぶ。また、通関業務として「貨物の分類と関税計算」等の基礎を学ぶ。				
到達目標	①通関業務に関わる専門機関や専門用語について理解する。 ②関税やその他の附帯税の計算方法について理解する。 ③国際物流について、専門用語や流れを理解する。				
授業計画	総授業時間数 26 時間 授業回数 26 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	「貿易」とは、貿易に伴うリスクについて			4
	2	世界の時差について			2
	3	貨物の分類について			2
	4	課税価格の計算と輸入申告について			2
	5	課税価格及び関税等の計算			4
	6	通関業務及び通関士の概要説明			2
	7	通関業務に付随する関連業務について(フォワーディング他)			2
	8	貨物の分類と輸入申告書作成①			2
	9	貨物の分類と輸入申告書作成②			2
	10	貨物の分類と輸入申告書作成③			2
	11	貨物の分類と輸入申告書作成④			2
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				26
教科書	オリジナルプリント(参考文献:通関士の基礎、貿易実務ハンドブック ベーシック)				
時間外 学習	ニュース番組視聴(特に国際関係)				
成績評価 方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。				
担当詳細	①. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>				

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	IATAディプロマ基礎	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	国際航空貨物取扱業務における輸出入貨物の諸手続きに必要な事項を理解し、航空業界就職後の貨物部門において第一線として活躍できるよう国際航空貨物の知識の取得並びに国際ライセンスの取得を目的とする					
到達目標	1. IATA/ディプロマ基礎の国際ライセンス取得。(100点満点中60点以上合格) 2. OAG・TACTから必要な情報を探し、応用することができる。					
授業計画	総授業時間数	164時間	授業回数	164回	1回授業 45分	授業時間数
	1	ディプロマ単語練習				3
	2	ディプロマ基礎の説明 国際航空貨物の概要				2
	3	IATAの役割 AWBの説明				2
	4	空港コード(3レター、2レター)				2
	5	IATAエリア、IATAサブエリア				2
	6	ガイド(OAG&TACT)の使い方				2
	7	時刻表問題				2
	8	確認テスト①				2
	9	航空貨物運賃計算問題① 端数処理				2
	10	航空貨物運賃計算問題② 実重量と容積重量				2
	11	航空貨物運賃計算問題③ 適用重量				2
	12	航空貨物運賃計算問題④ 運賃レートの見方				2
	13	航空貨物運賃計算問題⑤ 運賃貨物計算(適用重量×適用レート) GCR				4
	14	航空貨物運賃計算問題⑥ SCR Class Rate GCR				3
	15	航空貨物運賃計算問題⑦ 特定品目賃率(SCR) アイテムNo.				3
	16	航空貨物運賃計算問題⑧ クラスレート				3
	17	確認テスト②				3
	18	航空貨物運賃計算問題⑨ 従価料金(VALUATION CHARGES)				4
	19	航空貨物運賃計算問題⑩ 立替金手数料(DISBURSEMENTS FEE)				3
	20	航空貨物運賃計算問題⑪ 着払い手数料(CHARGE COLLECT)				2
	21	航空機に関する知識				3
	22	各国のレギュレーション				2
	23	航空貨物ルール 航空危険物				2
	24	クラスレート品目				2
	25	エアウェイビル(AWB)に関する問題 保税区域 システムの電子化				4
	26	航空貨物計算に関する問題				2
	27	期末試験③				3
	28	模擬試験				36
	29	解答解説(後藤レポート作成含む)				20
	30	ディプロマ英会話				40
	合計時間数				164	
教科書	OAG・TACT ディプロマText Book					
時間外学習	ディプロマ単語ノート、モジュールまとめを各自で進める					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>					

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	通年		
授業科目	一般学力(国語・数学・時事)	担当者	上原 美香	科目必修区分	必修		
授業概要 (目的)	(国語):「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」の6領域の内容を中心に理解を深め、日本語に対する関心を持ち、日本語を適切に使う力を養う。 (数学) 中学3年レベルを中心に、基礎的問題を確実に身につける。 (時事) 新聞やニュースを通して、社会人として最低限必要な教養を身につけることも目的とする。						
到達目標	1. 「書く」「話す」について、学んだ敬語を実践できる。 2. 一般社会で触れる文章・新聞などの漢字の読み・書きができ内容を理解することができる。 3. 四則の計算、簡単な方程式・文章問題を解くことができる。 4. 各単元に沿った問題を理解し、適した計算方法を使い問題を解くことができる。 5. 時事に関する最新の話題について、知識を習得している。						
授業計画	総授業時間数	52時間	授業回数	52回	1回授業	45分	授業時間数
	1	(国語)漢字の読み・書き①					2
	2	(数学)四則計算①					2
	3	(国語)漢字の読み・書き②					2
	4	(数学)四則計算②					2
	5	(国語)漢字の読み・書き③					2
	6	(数学)四則計算③					2
	7	確認テスト1					2
	8	(国語)熟語・慣用句①					2
	9	(数学)角度の計算					2
	10	(国語)熟語・慣用句②					2
	11	(数学)割合・面積・体積					2
	12	(国語)熟語・慣用句③					2
	13	(数学)分数のかけ算・わり算					2
	14	確認テスト2					2
	15	時事問題①					2
	16	(数学)速さ・道のり・時間の関係					2
	17	時事問題②					2
	18	(数学)反比例・文字式 連立方程式					2
	19	時事問題③					2
	20	(数学)方程式・不等式					2
	21	確認テスト3					2
	22	(国語)敬語の言い表し方(尊敬語、謙譲語、丁寧語)					2
	23	(数学)数列					2
	24	(国語)敬語の言い表し方(尊敬語、謙譲語、丁寧語)					2
	25	(数学)文章問題					2
	26	確認テスト4					2
	27						
	28						
	29						
	30						
	31						
32							
26							
27							
28							
29							
30							
	合計時間数					52	
教科書	最新最強の適性検査クリア問題集 '24年度						
時間外 学習	テキストの復習、ニュースを見る						
	日常生活で意識して敬語を使う						
成績評価 方法	家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により						
	総合的に評価する。						
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考				
実務経験紹介		—					

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	実習・講義	講義時期	通年
授業科目	グランドハンドリング実習	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	9月2週目・3週目に行われる企業インターンシップ前後の指導(インターンシップ開始前の航空知識の復習並びに各部署の説明。インターンシップ後の学生フォローアップと研修修了レポート作成)を行いグランドハンドリングの実践経験を身に付けることを目的とする。				
到達目標	1. エアポート実務基礎の振り返りテストの合格。(100点満点中80点以上で正解で合格とする) 2. 2週間の企業インターンシップ終了後のレポートにてC以上の評価結果(A・B・C・Dの4段階評価とする)				
授業計画	総授業時間数 68時間 授業回数 68回 1回授業 45分				授業時間数
	1	企業連携授業(JAL・ANA)※事前指導、レポート作成を含む			24
	2	グランドハンドリング実習			12
	3	県外空港研修			32
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				68
教科書	オリジナルプリント				
時間外 学習	前期で取得したエアポート実務の知識の復習を各自で進める。				
	エアポート実務基礎の前期振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する				
成績評価 方法	出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	①. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>				

## シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	危険物(法令)	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	航空業界における給油業務を行う上で必要な国家資格である「危険物取扱者乙種第四類」の資格取得を目的とする。				
到達目標	1. 約10回程度の危険物取扱者模擬試験にて法令部門7回合格することが出来る(15問中9問正解で合格) 2. 危険物本試験にて法令部門合格(15問中9問正解で合格)				
授業計画	総授業時間数 58時間 授業回数 94回 1回授業 45分				授業時間数
	1	危険物取扱者乙種第四類趣旨説明			1
	2	第1章 消防法における用語の意味			1
	3	指定数量			4
	4	製造所等の設置から用途廃止までの諸手続き			2
	5	製造所等における保安制度			2
	6	予防規程と認可			2
	7	製造所の使用停止となる条件 保安講習			2
	8	危険物取扱者の取り扱う危険物と権限まとめ 保安監督者業務			2
	9	危険物取扱者免状			2
	10	保安統括管理者 危険物施設保安員			2
	11	第1章まとめテスト			2
	12	第2章 製造所の位置、構造および設備の基準			2
	13	各製造所等の位置・構造・設備の基準			2
	14	第2章まとめテスト			2
	15	第3章 危険物の運搬に関する基準			2
	16	消防設備の区分と適応性			2
	17	所要単位と能力単位 掲示板と標識のまとめ			2
	18	第3章まとめテスト			2
	19	危険物法令まとめテスト			2
	20	危険物校内模試 解答・解説 誤答レポート作成			56
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				94
教科書	向学院 基礎から最新問題までよくわかる 乙四類危険物取扱者受験教科書				
時間外 学習	1.教科書の練習問題を各自で進める。				
	2.校内模試試験結果の誤答レポートの作成を各自で進める。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬テスト、本試験の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	危険物(物理・化学)	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	消防法別表に定める引火性液体に属する危険物を中心とした知識に加え、燃焼についての物理的知識、化学反応における燃焼の危険性などの基礎知識を習得する。				
到達目標	1. 第4類以外の危険物の概要が説明できる。 2. 第4類の共通の性質が説明できる。 3. 第4類の火災予防・消火方法が説明できる。 4. 特殊引火物から動植物油類までそれぞれの類ごとの性質が説明できる。 5. 事故防止対策について説明できる。				
授業計画	総授業時間数 52時間 授業回数 52回 1回授業 45分				授業時間数
	1	温度・熱量・比熱と熱容量・熱伝導・対流・放射・輻射について			3
	2	熱によるはたらき・線膨張・体膨張・物質の三態・気体・液体・個体・密度と比重			3
	3	物質の状態変化・融解・凝固・気化・凝縮・昇華・潮解・風解・溶解			3
	4	物質の成り立ち・純物質・混合物・同素体・異性体			2
	5	各単元確認テスト 解答と解説			4
	6	物理変化と化学変化・化合・酸化・還元・分解・中和			2
	7	酸化と還元・酸化剤と還元剤・金属の性質・酸素の性質・二酸化炭素			2
	8	有機化合物・無機化合物・構成元素・有機溶媒・炭化水素・電解質と非電解質			2
	9	酸と酸性・塩基とアルカリ性・中和と塩・塩の加水分解・p hについて			2
	10	各単元確認テスト 解答と解説			3
	11	燃焼の3要素・可燃物・酸素供給減・点火源・燃焼の難易・燃焼の態様の種類			2
	12	粉塵爆発・燃焼範囲・引火点・発火点と自然発火・燃焼点・物性値の大小			2
	13	消火のしくみ・窒息効果・除去効果・冷却効果・抑制効果・希釈効果			2
	14	消火剤と消火器・第四類危険物に関する消火方法			2
	15	各単元確認テスト 解答と解説			2
	16	科目範囲終了試験 解答と解説			2
	17	テキスト練習問題演習①②			2
	18	テキスト練習問題演習③④			2
	19	テキスト練習問題演習⑤			2
	20	まとめテスト			8
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
	合計時間数				52
教科書	乙四類危険物取扱者 受験教科書				
時間外 学習	各授業プリント復習				
	各演習問題の誤答レポート作成				
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬テスト、本試験の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	危険物(性質)	担当者	大城 利気	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	消防法別表に定める引火性液体に属する危険物の性質と用途、適切な消火方法について理解することを目的とする。				
到達目標	1. 第4類以外の危険物の概要が説明できる。 2. 第4類の共通の性質が説明できる。 3. 第4類の火災予防・消火方法が説明できる。 4. 特殊引火物から動植物油類までそれぞれの類ごとの性質が説明できる。 5. 事故防止対策について説明できる。				
授業計画	総授業時間数 36時間 授業回数 36回 1回授業 45分				授業時間数
	1	第四類危険物以外の類についての概要			4
	2	第四類危険物の共通する性質、火災予防、消火の方法			4
	3	第四類危険物の品目と性質(特殊引火物)			4
	4	第四類危険物の品目と性質(第1石油類)			4
	5	第四類危険物の品目と性質(アルコール類)			2
	6	第四類危険物の品目と性質(第2石油類)			4
	7	第四類危険物の品目と性質(第3石油類)			2
	8	第四類危険物の品目と性質(第4石油類)			2
	9	第四類危険物の品目と性質(動植物油類)			2
	10	まとめテスト			8
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				36
教科書	乙4危険物取扱者 受験教科書				
時間外学習	単語帳等を活用した自主学習				
成績評価方法	出席率、授業態度、模擬テスト、本試験の結果により総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・1年次	授業方法	講義・演習	講義時期	後期	
授業科目	エアポート実務 I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	業界で使用する航空用語や、航空支援特殊車両の特性等,航空機地上支援業務に特化した専門的・実践的な知識を学び、入社後のキャリア形成を図る。					
到達目標	1. 前期で学んだ知識の復習問題の合格することができる。(100点満点中80点以上で正解で合格とする) 2. 航空用語(応用)空港特殊車両(応用)の筆記テストの合格点到達。(それぞれ100点満点中60点以上正解で合格とする)					
授業計画	総授業時間数	20時間	授業回数	20回	1回授業 45分	授業時間数
	1	前期の復習(3レター、2レター、航空用語基礎、航空危険物)				4
	2	航空用語(応用)				6
	3	空港特殊車両(応用)				2
	4	グランドハンドリング作業工程時間(STAY TIME)				2
	5	機体別コンテナ収納台数、Door Side				2
	6	学年末テスト				4
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				20	
教科書	オリジナルプリント					
時間外 学習	前期で取得したエアポート実務の知識の復習を各自で進める。					
成績評価 方法	出席率、授業態度、豆テスト等の結果により総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>					

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	総合学習Ⅱ	担当者	川添 樹子他	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	1年次で学んだことを踏まえて、「自立」、「自律」を主とし、自ら考え行動できる力を養うことを目的とする。その手段として各種行事の運営を学生主体となって実践する。				
到達目標	1. 各種行事において、振り返りができ、次につながる改善策を提案できる。 2. 積極的な就職活動により、希望する企業・業界の研究がしっかりできる。				
授業計画	総授業時間数 68時間 授業回数 68回 1回授業 45分				授業時間数
	1	LHR ロングホームルーム(クラス行事、学生個別ガイダンス等を含む)			20
	2	就職実務Ⅱ			14
	3	チャレンジ検定対策			34
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				68
教科書	オリジナルプリント他				
時間外 学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等) 2. 学校行事(ビーチパーティその他行事等)に関しては時間外で準備対応等がある。				
成績評価 方法	出席率、授業態度、課外活動総合的に評価する。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	講義	講義時期	前期	
授業科目	志学Ⅱ	担当者	大冨見 汐織	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	「働く」意味についてしっかりと考え、社会生活を通して、「夢」、「志」について深く学び、将来のやりがいにつながる「立志」を確立させる。					
到達目標	1. ロールモデルとなる人物を挙げ、その人物の生き方を知ることができる。 2. 「働く」ことの意味をしっかりと理解し、自分自身の「志」を定めることができる。					
授業計画	総授業時間数	26時間	授業回数	26回	1回授業 45分	授業時間数
	1	序章 志学Ⅰ 振り返り				2
	2	第1章 「志とは」				4
	3	第2章 感化力「志」高く生きた人に学ぶ ※家庭学習課題対応				4
	4	第3章 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く				4
	5	第4章 考える力(思考力)を磨く				4
	6	第5章 私の「志」				8
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					26
教科書	KBC学園オリジナルテキスト「志学Ⅰ・Ⅱ」					
時間外 学習						
成績評価 方法	出席率、授業態度、レポート提出等総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	演習・講義	講義時期	通年		
授業科目	パソコン演習Ⅱ	担当者	喜名 和歌子	科目必修区分	必修		
授業概要 (目的)	パソコン演習Ⅰで習得した技能を土台として、上級取得を目指す。準2・2級の出題範囲である関数の理解を深め、応用力を身につける。						
到達目標	日本情報処理検定協会の主催する検定試験(準2級以上)の知識及び技能が身につけていること。						
授業計画	総授業時間数	72時間	授業回数	72回	1回授業	45分	授業時間数
	1	3級問題の復習(各関数の復習「IF」、「SUM」、「AVERAGE」他)					4
	2	模擬試験問題(2級)演習①(特にVLOOKUPを重点的に理解する)					4
	3	模擬試験問題(2級)演習②(セル証明、IFの応用を理解する)					6
	4	模擬試験問題(2級)演習③(グラフ作成について理解する)					6
	5	模擬試験問題(2級)演習④(随時、解説を行う)					4
	6	模擬試験問題(2級)演習⑤					4
	7	模擬試験問題(2級)演習⑥					4
	8	模擬試験問題(2級)演習⑦					4
	9	模擬試験問題(2級)演習⑧					4
	10	模擬試験問題(2級)演習⑨					4
	11	模擬試験問題(2級)演習⑩					4
	12	模擬試験問題(2級)演習⑪					4
	13	模擬試験問題(2級)演習⑫					4
	14	模擬試験問題(2級)演習⑬					4
	15	模擬試験問題(2級)演習⑭					4
	16	模擬試験問題(2級)演習⑮					4
	17	模擬試験問題(2級)演習⑯					4
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数					72	
教科書	情報処理検定試験 表計算 模擬問題集(準2級・2級)						
時間外 学習	パソコン室にて過去問題について、自主学習を行う。						
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬試験及び本試験の結果により総合的に評価する。						
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考				
実務経験紹介	—						

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	航空無線(法規)	担当者	吉原 亜矢子	科目必修区分	必修	
授業概要 (目的)	電波法に定める無線局の許可制度や、無線従事者についての諸規則を学ぶ。また、航空の分野でどのように活用されているかを理解する。					
到達目標	①航空特殊無線技士試験の合格基準(60%以上)を満たしていること。 ②無線局及び無線従事者の役割を理解していること。					
授業計画	総授業時間数	22時間	授業回数	22回	1回授業 45分	授業時間数
	1	・動機付け:「航空特殊無線技士」の試験内容説明及び取得のメリット等・電波法の目的・用語の定義 ※家庭学習課題対応				1
	2	・無線局の免許と解説				1
	3	・無線局の免許申請				2
	4	・予備免許中の変更				2
	5	・無線局免許の有効期間及び再免許・記載事項変更				2
	6	・無線従事者				2
	7	・無線局の運用				2
	8	・航空移動業務の通信方法				2
	9	・航空移動業務の通報の送信とりまとめ				2
	10	・業務書類 ・免許状の訂正・再交付又は返納				2
	11	・電波の発射の停止				2
	12	・無線局の免許の取り消し、運用の停止・制限				2
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				22	
教科書	無線従事者養成課程用 標準教科書 法規 航空特用					
時間外 学習	過去問題の復習					
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬試験、本試験の結果により総合的に評価。					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>					

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	航空無線(工学)	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	航空特殊無線技士の資格取得に向けての対策授業である。法規・工学・電気通信術の3分野について学ぶ。電波法を中心に法律で定義される専門用語を理解し、また無線工学の基礎として電気の基礎知識を学ぶ。併せて、実技試験である送話・受話についてもファナティックコードを覚えて演習する。工学は過去本試験問題により演習で得点を上げ、実技についても演習で経験値を上げ合格を目指す。				
到達目標	1. 航空特殊無線技士の取得 2. 空港地上職にて「航空特殊無線技士」の資格の活用方法 3. 電気通信術(実技・欧文コード受話と送話)				
授業計画	総授業時間数 64時間 授業回数 64回 1回授業 45分				授業時間数
	1	始めに:シラバス配布 授業の進め方と目的 評価の方法について			1
	2	第1章:電波の性質・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	3	第2章:電気と磁気・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	4	第3章:電気回路・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	5	第4章:半導体及び電子管・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	6	第5章:電子回路・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	7	第6章:無線通信装置・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	8	第7章:無線航法装置・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	9	第8章:レーダー・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	10	第9章:空中戦系・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	11	第10章:電波の伝番・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	12	第11章:混信など・本試験過去問題による演習 解答と解説			1
	13	第12章:電源・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	14	第13章:測定・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	15	第14章:点検及び保守・本試験過去問題による演習 解答と解説			2
	16	工学最終確認テスト 解答と解説			2
	17	実技試験の実施方法と合格基準 ファナティックコードの説明と暗記			2
	18	実技練習(受話):ラジカセから流れるコードを聴き、シートへ書き取る			2
	19	実技練習(受話):ラジカセから流れるコードを聴き、シートへ書き取る			2
	20	実技練習(送話):ファナティックコードを試験官に向けて読み上げる			2
	21	実技練習(送話):ファナティックコードを試験官に向けて読み上げる			2
	22	実技練習(送話):ファナティックコードを試験官に向けて読み上げる			2
	23	実技最終確認テスト			2
	24	校内模擬試験(全10回)			20
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				64
教科書	航空特殊無線技士 無線工学				
時間外 学習	授業プリント内容の復習				
	模擬試験の誤答問題の復習				
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬試験、本試験の結果により総合的に評価。				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>				

## シラバス

令和5年度

学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	実用英語Ⅱ (TOEIC)	担当者	新里玲子・川添樹子 上原美香	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEICを初めて受験する、あるいはスコアアップを目指す学生を対象に、頻出語句、基礎文法、回答のテクニックを中心に学習する。</li> <li>・リスニング問題、リスニング問題を解くために必要な語句・文法確認を継続して行う。</li> </ul>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・TOEICスコア300～400以上を取得する。</li> <li>・TOEICの学習、テスト形式になれ、今後継続的にハイスコアを目指して学習できる。</li> </ul>				
授業計画	総授業時間数 176時間 授業回数 176回 1回授業 45分				授業時間数
	1	オリエンテーション、問題形式・出題内容について			1
	2	実力診断テスト(模擬試験)			2
	3	リスニング Part 1、ボキャブラリー①			10
	4	リスニング Part 2、ボキャブラリー②			10
	5	リスニング Part 3、リーディング Part 5			20
	6	リスニング Part 4①、リーディング Part 6			10
	7	リスニング Part 4②、リーディング Part 7			10
	8	全パート入門編			17
	9	模擬試験①、解答解説			4
	10	リスニング Part 1、ボキャブラリー①			10
	11	リスニング Part 2、ボキャブラリー②			10
	12	リスニング Part 3、リーディング Part 5			20
	13	リスニング Part 4①、リーディング Part 6			10
	14	リスニング Part 4②、リーディング Part 7			10
	15	全パート入門編			16
	16	模擬試験②、解答解説			4
	17	模擬試験③、解答解説			4
	18	模擬試験④、解答解説			4
	19	模擬試験⑤、解答解説			4
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				176
教科書	TOEIC L&Rテスト書き込みドリル(桐原書店)、公式TOEIC L&R問題集(ETS)他				
時間外 学習	単語テスト(Googleフォーム)他				
成績評価 方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家 (2. 教員)		備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	講義・実技	講義時期	前期
授業科目	エアポート実務Ⅱ	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	1. 1年次で学んだエアポート実務(基礎)・Ⅰの復習並びにより高度な航空知識(全国3レター、世界3レター、機種別航空機コンテナ搭載台数、旅客航空用語)を学び、各航空会社入社前準備を目的とする。 2. 航空会社入社後に必要な制限区域内運転許可試験(CAB車両試験)対策を行い、航空会社入社後、航空局内試験の知識取得を目的とする。				
到達目標	1. 1年次、2年次にて学んだ航空知識のまとめ問題を合格。(100点満点中80点以上で正解で合格とする) 2. 全国並びに世界3レター8割理解できる。(約120問中96問以上正解で合格とする) 3. CAB車両試験問題模擬試験合格。(100点満点中80点以上で合格とする)				
授業計画	総授業時間数 42 時間 授業回数 42 回 1回授業 45分				授業時間数
	1	全国3レター			2
	2	世界主要都市空港3レター			2
	3	エアポート実務Ⅱの趣旨説明			2
	4	1年次の復習テスト			2
	5	全国3レターテスト			2
	6	世界主要都市空港3レターテスト			2
	7	航空機機種別コンテナ搭載台数とDoor SIDE			2
	8	旅客航空用語			2
	9	3～8まとめテスト			2
	10	CAB車両試験対策			6
	11	CAB車両試験まとめテスト			4
	12	まとめ、振り返りレポート提出			2
	13	エアポートKYTの趣旨説明			2
	14	KYTグループディスカッション 演習 事故事例、解説含む			6
	15	エアポートKYTまとめ			4
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				42
教科書	教科書はなく、教務の作成委したプリントにて授業を行う。				
時間外学習	1. 1年次で取得したエアポート実務の知識の復習を各自で進める。 2. 各確認テストにて合格点未満の学生対しては時間外に追試験を行う。				
成績評価方法	出席率、授業態度、各テスト、及び、学期末テストの結果により総合的に評価する。				
担当詳細	①. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>				

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科グランドハンドリングコース2年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	国内・海外地理	担当者	前津 盛明	科目必修区分	選択必修	
授業概要 (目的)	一般常識である日本国内及び世界の地理を観光業の目線から学びなおす					
到達目標	日本全国の都道府県名、県庁所在地が全て答えられる 都道府県の位置が地図上で答えられる 各地方の観光地・名産品が具体的に述べられる 海外の首都や有名観光地の知識を習得している					
授業計画	総授業時間数	26時間	授業回数	26回	1回授業 45分	授業時間数
	1	関東の人口・面積・地名・観光地				1
	2	中部の人口・面積・地名・観光地				1
	3	関西の人口・面積・地名・観光地				1
	4	中国四国の人口・面積・地名・観光地				1
	5	九州の人口・面積・地名・観光地				1
	6	北海道の人口・面積・地名・観光地				1
	7	まとめテスト				2
	8	グループワーク①(都道府県探し)				2
	9	グループワーク②(世界遺産探し)				2
	10	国内地理調べワーク・発表				4
	11	※これまで学んだことから興味ある都道府県を一つ選び観光情報をまとめて発表する				
	12	※まとめる情報(観光地3つ、特徴、選んだ理由)				
	13	世界の国々				2
	14	海外主要首都				2
	15	首都テスト				2
	16	海外の世界遺産				2
	17	海外総まとめテスト				2
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				26	
教科書	オリジナルプリント					
時間外学習	日本の都道府県、県庁所在地を覚える、世界各国の首都を 日頃のニュースから情報を得る					
成績評価方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考			
実務経験紹介	<a href="https://www.irc.ac.jp/information/">https://www.irc.ac.jp/information/</a>					

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	B検ジョブパス3級	担当者	崎山 さとみ	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	企業が求める人材について知ることで、企業で働く準備を行う。				
到達目標	①ビジネスマナーとコミュニケーションの基本を理解し、習熟度テストで合格できる。 ②仕事の実践とビジネスツールの知識を理解し、理解度テストで合格できる。				
授業計画	総授業時間数 46時間 授業回数 46回 1回授業 45分				授業時間数
	1	キャリアと仕事のアプローチ			2
	2	社会活動の基本			2
	3	コミュニケーションマナーの重要性			2
	4	指示の受け方と、報告・連絡・相談			2
	5	話し方と聞き方のポイント			2
	6	電話応対			2
	7	話し方と聞き方のポイント			2
	8	来客対応と訪問の基本マナー			2
	9	冠婚葬祭のマナー			2
	10	仕事の取組み、進め方			2
	11	ビジネス文書の基本			4
	12	統計データの作り方、読み方			4
	13	情報収集とメディア活用			4
	17	会社数字の読み方			4
	19	ビジネス能力検定テスト			10
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				46
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式試験問題集				
時間外 学習	新聞を読み、様々な数値、統計に関心を持つ。				
成績評価 方法	授業態度 ビジネス能力検定過去問題テスト 理解度テスト				
担当詳細	1. 実務家	2. 教員	備考		
実務経験紹介	—				

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース 2年生	授業方法	講義・実習	講義時期	後期	
授業科目	総合学習Ⅱ	担当者	川添 樹子他	科目必修区分	選択必修	
授業概要 (目的)	1年次で学んだことを踏まえて、「自立」、「自律」を主とし、自己の向上を図るため、上位級の検定にチャレンジする。また、福祉に関する知識習得と簿記の知識も習得し、社内業務に活かす。さらにフィジカルトレーニングを通して、健全な心身を保つ。					
到達目標	1. 一つでも多くの検定を取得する。 2. 日商簿記3級程度の知識を習得する。 3. 沖縄の文化に触れることで、伝統芸能を習得する。他					
授業計画	総授業時間数	342時間	授業回数	342回	1回授業 45分	授業時間数
	1	チャレンジ検定対策				30
	2	英会話Ⅱ				30
	3	海外実務				28
	4	福祉交流(手話・三線)				82
	5	会社実務(簿記基礎)				82
	6	フィジカルトレーニング				60
	7	ビジネススキル				30
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					342
教科書	オリジナルプリント他					
時間外 学習	1. ニュース(海外)に関心を持ち、視聴する。 2. ドラマや手話ニュースなどから、基本的な手話を学習する。					
成績評価 方法	出席率、授業態度、課外活動総合的に評価する。					
担当詳細	1. 実務家	②. 教員	備考			
実務経験紹介	—					

## シラバス

令和5年度

学校名:専修学校インターナショナルリゾートカレッジ

学科・学年	エアポートビジネス科 グランドハンドリングコース・2年次	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	入社前実習	担当者	川添 樹子	科目必修区分	選択必修
授業概要 (目的)	①講義等で得た知識を実践の場で体験を行う ②就職を意識した企業観察を同時に行い、就職後をイメージした研修の実施				
到達目標	①各内定を頂いた企業からの事前課題資料の学習及び業務についての基礎的な学習の実施。 ②社会人また職業人としての基礎的な知識また実技を習得する。				
授業計画	総授業時間数 342時間 授業回数 342回 1回授業 45分				授業時間数
	1	入社前実習			342
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				342
教科書	企業オリジナル教材				
時間外 学習	学内で学んだ専門用語等の資料を復習する。				
成績評価 方法	勤怠状況等により、総合的に評価する。 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	1. 実務家	②. 教員	備考		
実務経験紹介	—				